『みつばちのルビー』



前田　まゆみ／作
アリス館

　ルビーは他のみつばちより、体はちょっと小さいけれど元気な女の子。働きバチとして、そうじや花粉のパンづくり、見張り番などいろいろな仕事を経験します。やがて花から花を飛び回ってみつを集めますが、外の世界は危険もいっぱい。
　みつばちの知られざる世界に驚くとともに、困難をこえてまっすぐ成長していくルビーを応援したくなる物語です。

『いいたいことがありすぎます！』



工藤　純子／作　武田　美穂／絵
金の星社

　言いたいことがあっても言えないりんと、対照的に何でも言うひろき。学童のおやつ作りで、くじ引きで決まったサンドイッチを作ることになりますが、ひろきは「いやだ」と駄々をこねます。りんは他のおやつをうらやましく思いながら、あれこれ考えて何も言えません。
　自分の気持ちを伝える難しさと大切さが描かれ、一歩踏み出す勇気をもらえる物語です。

『ちいさなクリスマスツリー』



アーシュラ・モリー・ウィリアムズ／作
尾崎　愛子／訳　嶽　まいこ／絵
岩波書店

　農家の父親が、森から小さなもみの木を切ってきました。子どもが眠った後、夫婦はその木に母親が焼いたクッキーを飾り付けますが、きれいな飾りがありません。それを知ったもみの木は、夜にこっそり家を抜け出し、家族が喜ぶような飾りを森へ探しに出かけます。自分の「みどりの針」といろんなものを交換しながら…。
　クリスマスの奇跡を描いた心温まるお話です。

図書館おすすめブックリスト

2026年11月発行
編集・発行　砺波市立図書館



ハート
ココロふるえる本との出会いで♥フル充電!!

No.35 小学1～3年生向け

『ガマ千びきイワナ千びき』



最上　一平／作　ザ・キャビンカンパニー／絵
文溪堂

　ガマは滝つぼで、「あたらしい自分にであえる気がする」と、滝の上に行こうと挑戦を続けるイワナに出会います。半分も登れないイワナを見て最初はあきれていたガマでしたが、そのひたむきな姿がだんだん憧れに変わっていき…。
　夢に向かってがんばる人に勇気をくれるお話です。迫力満点に描かれた、夢を叶えた先に見える景色のすばらしさも見どころです。

『ふしぎなはごろも』



蔡 皋 // 作・絵　石田 稔 // 訳
徳間書店

中国の山村に暮らす、正直で働き者の貧しい青年アツォワンは、絵から抜け出した不思議な娘アツァイと夫婦になります。しかし、彼女の美しさと、切り紙や竹に命を吹き込む魔法の力に目をつけた強欲な皇帝が、次々と無理難題を突きつけて、2人を引き裂こうとします。中国・ミャオ族の民話をもとに、困難に立ち向かう夫婦の知恵と勇気を描いた美しい絵本です。

『まわるおすしやさん』



藤重 ヒカル // 作
福音館書店

山のおまつりで、食べものやを開くことになったサルたち。人間の町で、はやっている店をやりたいサルたちは、キツネに「まわるおすしやさん」を教えてもらいます。けれど、おすしやさんの何が回るのか分からず、店を回したり、客を回したりと、あれこれ試してみますが…。

サルたちが考える、いろんな回す仕組みにびっくり！サルたちのチームワークも愉快です。

『せかいはすきであふれてる』



大森 裕子 // 著
KADOKAWA

学校は宿題が多いし、先生に怒られるし…。息が詰まりそうな毎日にもやもやを抱えている少年が、自由な様子の飼い猫を見て「猫になりたい」と願ったところ、本当に猫になっていました。猫の目線で見る景色は、いつもと違う鮮やかさを見せ、少年は日常に埋もれていた楽しさを再発見していきます。

同じ作家の絵本『わすれていいから』との繋がりにも注目です。

『科学の芽えほん ダンゴムシはめいろのたつじん？』



かんちく たかこ // 文　スギヤマ カナヨ // 絵
橋本 類 // 原案
講談社

ダンゴムシが大好きなぼく。ダンゴムシがジグザグに進むことが得意だと気づき、迷路を作って確かめます。迷路をぐるぐる回したり、好物や苦手なものを置いたりして、ダンゴムシがどうしたら迷うのか実験をすると、ジグザグに進むといい理由がわかってきました。

小学3年生の自由研究を元にしており、ユニークな発想が面白く、工夫して調べる楽しさを教えてくれます。

『はじまりはわざとじゃない！』



かさい まり // 作　北村 みなみ // 絵
くもん出版

学校の廊下で、いつもちょっかいを出してくるつばさにぶつかられたるい。「わざとじゃない！」といい加減な謝り方をされてむっとします。そんな中、スーパーでの出来事がきっかけで2人の関係が少しずつ変化していきます。ぶつかった時につばさが本当に思っていたことは？

章ごとにるいとつばさの視点が入れ替わり、お互いの見えない気持ちがわかります。

『わたしだけのいすどうつくる？』



二歩 // 作・絵
くもん出版

どんないすでも作ってくれるというお店に、女の子は誰も見たことがない自分だけのいすをお願いしに行きました。しかし、難しいと断られ、代わりにいす屋の店主から女の子が自分で作ることを提案されます。女の子は店主からアイデアの出し方を教えてもらって、何度も悩み、失敗しながら、いすを完成させます。

ものづくりをする時の実用的な考え方が楽しく学べます。